

MAKEUP COMPOSITION FOR HAIR AND PRODUCTION OF THE COMPOSITION

Publication number: JP11217317

Publication date: 1999-08-10

Inventor: SHIM HO CHIN

Applicant: DAMIN ENTERP LTD

Classification:

- **International:** **A61K8/00; A61K8/96; A61K8/97; A61K36/282; A61Q5/00; A61Q7/00; A61K8/00; A61K8/96; A61K36/185; A61Q5/00; A61Q7/00; (IPC1-7): A61K7/06**

- **European:** A61K8/96C; A61K8/97; A61K8/97C; A61Q7/00

Application number: JP19980312612 19981102

Priority number(s): KR19970057760 19971103

Also published as:



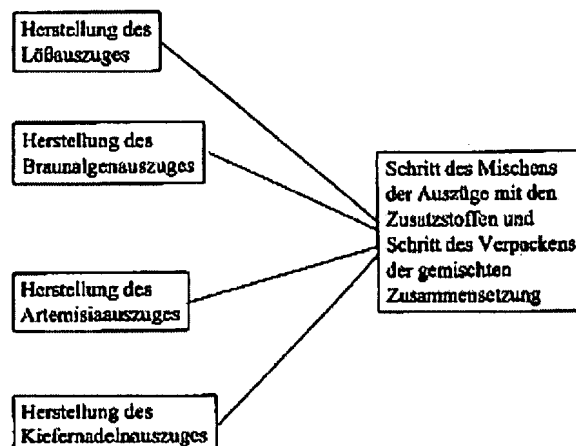
US6254858 (B1)
GB2334444 (A)
FR2771288 (A1)
DE19850516 (A1)
CN1180762C (C)

more >>

Report a data error here

Abstract of JP11217317

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a makeup composition capable of dissolving a peroxidized sebum blocking hair bulbs and accelerating blood circulation of the scalp by making the composition include an extract solution of loess, an extract solution of brown algae, an extract solution of a mugwort, an extract solution of a pine needle and an additive therein. **SOLUTION:** This composition is obtained by including (A) an extract solution of loess containing various inorganic substances such as silicon dioxide, aluminum and magnesium, (B) an extract solution of brown algae extracted from a sea mutard (*Undaria pinnatifida* Suringar) and a sea tangle and containing calcium, iodine and various inorganic substances, (C) an extract solution of a mugwort containing a cineole and a sesquiterpene ingredients, (D) an extract solution of a pine needle containing a protein, a lipid, a glucide, cellulose, an ash, calcium, phosphorus, iron and vitamins, etc., and (E) an additive. In the composition, the ingredient A in an amount of about 50 pts.wt., the ingredient B in an amount of about 50 pts.wt. and the ingredient D in an amount of about 20 pts.wt. based on 10 pts.wt. ingredient C are preferably contained.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-217317

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月10日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/06

審査請求 有 請求項の数18 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-312612

(22) 出願日 平成10年(1998)11月2日

(31) 優先権主張番号 1 9 9 7 - 5 7 7 6 0

(32) 優先日 1997年11月3日

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 598151186

ダ ミン エンタープライズ リミテッド
大韓民国 ソウル, ソウチョウーク,
パンボ 4 - ドン 47-5

(72) 発明者 ホ チン シム

大韓民国, キョンギードウ, コーヤン
ーシ, イルサンーク, パエクスアード
ン 1145, カンヤンーピラ 1007-302

(74) 代理人 弁理士 山本 秀策

(54) 【発明の名称】 毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 脱毛を減少させ、脱毛を予防するだけでなく、発毛を促進する毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法を提供すること。

【解決手段】 脱毛を予防する毛髪用化粧組成物の製造方法において、黄土抽出溶液加工工程と、褐藻類抽出溶液加工工程と、よもぎ抽出溶液加工工程と、松葉抽出溶液加工工程及び前記全ての抽出溶液を混合して包装する工程を含む。

黄土溶液加工工程

褐藻類溶液加工工程

よもぎ
溶液加工工程

松葉溶液加工工程

混合及び包装工程

【特許請求の範囲】

【請求項1】 脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物において、

黄土抽出溶液、褐藻類抽出溶液、よもぎ抽出溶液、松葉抽出溶液及び添加物を含むことを特徴とする毛髪用化粧組成物。

【請求項2】 前記黄土抽出溶液は、二酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム及び、各種無機質を含むことを特徴とする請求項1に記載の毛髪用化粧組成物。

【請求項3】 前記褐藻類抽出溶液は、カルシウム及び沃素及び、各種無機物を含むことを特徴とする請求項1に記載の毛髪用化粧組成物。

【請求項4】 前記褐藻類抽出溶液は、ワカメ及び昆布から抽出したことを特徴とする請求項1に記載の毛髪用化粧組成物。

【請求項5】 前記よもぎ抽出溶液は、シネオール及びセスキテルペン成分を含むことを特徴とする請求項1に記載の毛髪用化粧組成物。

【請求項6】 前記松葉抽出溶液は、蛋白質、脂質、糖質、繊維素、灰分、カルシウム、磷、鉄及びビタミンを含むことを特徴とする請求項1に記載の毛髪用化粧組成物。

【請求項7】 前記よもぎ抽出溶液10重量部に対して前記黄土抽出溶液約50重量部、前記褐藻類抽出溶液約50重量部、及び前記松葉抽出溶液約20重量部を含むことを特徴とする請求項1に記載の毛髪用化粧組成物。

【請求項8】 脱毛を予防する毛髪用化粧組成物の製造方法において、

黄土抽出溶液加工工程と、褐藻類抽出溶液加工工程と、よもぎ抽出溶液加工工程と、松葉抽出溶液加工工程及び前記すべての抽出溶液を混合する工程とを含むことを特徴とする毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項9】 前記黄土抽出溶液加工工程は、黄土を細かく粉碎してふるいで濾して細かい黄土のみ選別する段階と、該選別された黄土を精製水に溶解させる段階と、溶解された黄土のみ選別して暗所に置いた途中に、上層部の溶液のみを取る段階とを含むことを特徴とする請求項8に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項10】 前記褐藻類抽出溶液加工工程は、褐藻類を水に入れてから加熱して抽出溶液を抽出する段階と、褐藻類を加熱せずに葉体組織を破壊及び汙過して抽出溶液を抽出する段階と、加熱して抽出した溶液と加熱せずに抽出した溶液とを混合する段階とを含むことを特徴とする請求項8に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項11】 前記褐藻類を加熱せずに葉体組織を破壊及び汉過して抽出溶液を抽出する段階は、褐藻類特有の臭いを除去する脱臭段階と、前記脱臭した褐藻類を凍結及び解凍する段階と、前記凍結及び解凍を繰り返した褐藻類を粉碎機で粉碎する段階と、前記粉碎された褐藻

類を分離及び汉過して褐藻類溶液を抽出する段階とを含むことを特徴とする請求項10に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項12】 前記褐藻類を凍結及び解凍する段階は、約-7~-3℃で凍結してから約1~5℃で解凍する操作を繰り返すことによりなることを特徴とする請求項10に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項13】 前記褐藻類を凍結及び解凍する段階は、約-5℃で凍結し、さらに約3℃で約6時間の間解凍する操作を3回繰り返すことによりなることを特徴とする請求項12に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項14】 前記褐藻類抽出溶液の混合段階は、加熱して抽出した褐藻類抽出溶液と加熱せずに抽出した褐藻類抽出溶液とを1:1の割合で混合することを特徴とする請求項10に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項15】 前記よもぎ抽出溶液を抽出する工程は、前記加熱により抽出した褐藻類溶液を冷却し、該褐藻類溶液によもぎを入れてよもぎ抽出溶液を抽出する段階を含むことを特徴とする請求項8に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項16】 前記よもぎ抽出溶液を抽出する段階は、約60℃に冷却した前記褐藻類溶液1L当たり前記よもぎを粉末化したよもぎ粉末10gを入れてよもぎ抽出溶液を抽出する段階を含むことを特徴とする請求項15に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項17】 前記松葉抽出溶液加工工程は、水1L当たり松葉125gを入れてから加熱して松葉抽出溶液を抽出する段階を含むことを特徴とする請求項8に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【請求項18】 前記溶液を混合し攪拌する工程は、前記工程から抽出した抽出溶液及び添加物を一つに混合して均一に攪拌する段階と、前記段階で混合された完成品を包装する段階とを含むことを特徴とする請求項8に記載の毛髪用化粧組成物の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法に関し、より具体的には脱毛を減少させ、脱毛を予防するだけでなく、発毛を促進する毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法に関することである。

【0002】

【従来の技術】脱毛症は、精神的ストレス、ホルモン分泌の不均衡、化学療法、高熱を伴う疾病、物理的圧迫及び老化などを含んでいる多様な因子により誘発される。

【0003】かかる脱毛症は、生命を脅威する疾病ではないが、外貌を重視し、映像文化が発達した社会的環境においては個人の士気沮喪を誘発し、美観を害し、精神健康を阻害する。したがって、脱毛及び発毛に対する研究が多数行われており、かかる研究は後天性脱毛の原因

に関して数種類の原因を導き出した。

【0004】前記原因の中、脂漏により脱毛が発生するという脂漏説が、最も説得力がある仮説として受け入れられている。

【0005】以下では、脂漏説による脱毛過程を説明する。まず、図2に示されたように髪の毛1は血管を介して栄養を供給される毛乳頭2を有する幹細胞3が位置した毛球4と、前記幹細胞3と連結する部分にある皮脂腺5を有する毛根6と、皮膚の表皮7部分である毛幹8とよりなる。

【0006】本来、皮脂は毛髪を潤沢させる役割を行うが、分泌量が多くなれば毛球を塞ぐようになる。毛球を塞ぐ皮脂は酸化されて過酸化脂質に変わり、毛髪生成の中核役割を行う幹細胞の活動を鈍化させる。言い換えれば、毛球を塞ぐ皮脂はワックス形態に固まって幹細胞の代謝作用を低下させることによって、新しい髪の毛の生成を阻害することである。このような現象が持続されれば、髪の毛に脂気が過剰に存在するので、ふけが生じ、かゆくなり、脱毛現象が生ずるといふ仮説であって、最も説得力がある後天性脱毛の原因として受け入れられている。

【0007】一方、従来の脱毛を予防及び治療するための技術を見ると、漢方薬剤を配合して作られた薬品、動物の皮膚から抽出された多糖体を主原料として作られた薬品、高血圧治療剤のミノキシジル(minoxydil)を主成分として作られた薬品及び鍼術を用いて血管を刺激したり、直接頭皮に毛髪を植える等の方法が用いられてきた。

【0008】しかし、脱毛症を克服するための多数の薬品及び方法が西洋医学と漢方医学とで開発されたが、著しい効果がないので、脱毛を予防し、発毛を促進する新しい組成物が要求されている。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明は前記の問題点を解決するために案出したものであって、本発明の目的は、過剰に分泌された皮脂が酸化されて毛球を塞ぐ場合、塞がった皮脂を溶かして毛球が塞がらないようにすることにより、脱毛を予防する毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法を提供することにある。

【0010】本発明の他の目的は、直接毛囊上皮に作用して毛髪の成長を誘発する毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法を提供することにある。

【0011】本発明のさらに他の目的は、頭皮の血液循環を円滑にして末梢血管を刺激することにより、毛髪の成長を促進する毛髪用化粧組成物及びその組成物の製造方法を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】前記の目的を達成するために、本発明は、黄土抽出溶液、褐藻類抽出溶液、よもぎ抽出溶液、松葉抽出溶液及び添加物を含む。前記黄土

抽出溶液は、二酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム等、各種無機質を含み、前記褐藻類抽出溶液は、カルシウム及び沃素等、各種無機質を含み、前記褐藻類抽出溶液は、ワカメ及び昆布から抽出され、前記よもぎ抽出溶液は、シネオール及びセスキテルペン成分を含み、前記松葉抽出溶液は、蛋白質、脂質、糖質、繊維素、灰分、カルシウム、燐、鉄及びビタミン等を含み、前記よもぎ抽出溶液10重量部に対して前記黄土抽出溶液約50重量部、前記褐藻類抽出溶液約50重量部、及び前記松葉抽出溶液約20重量部を含むことを特徴とする。

【0013】また、本発明は、黄土抽出溶液加工工程と、褐藻類抽出溶液加工工程と、よもぎ抽出溶液加工工程と、松葉抽出溶液加工工程及び前記すべての抽出溶液を混合する工程とを含む。前記黄土抽出溶液加工工程は、黄土を細かく粉碎してふるいで濾して細かい黄土のみ選別する段階と、前記選別された黄土を精製水に溶解させる段階と、溶解された黄土のみ選別して暗所に置いた途中に、上層部の溶液のみを取る段階とを含み、前記褐藻類抽出溶液加工工程は、褐藻類を水に入れてから加熱して抽出溶液を抽出する段階と、褐藻類を加熱せずに葉体組織を破壊及び汙過して抽出溶液を抽出する段階と、加熱して抽出した溶液と加熱せずに抽出した溶液とを混合する段階とを含み、前記褐藻類を加熱せずに葉体組織を破壊及び汉過して抽出溶液を抽出する段階は、褐藻類特有の臭いを除去する脱臭段階と、前記脱臭した褐藻類を凍結及び解凍する段階と、前記凍結及び解凍を繰り返した褐藻類を粉碎機で粉碎する段階と、前記粉碎された褐藻類を分離及び汉過して褐藻類溶液を抽出する段階とを含むことを特徴とする。

【0014】また、本発明において、前記褐藻類を凍結及び解凍する段階は、約-7℃~-3℃で凍結してから約1℃~5℃で解凍する操作を繰り返すことによりなり、前記褐藻類を凍結及び解凍する段階は、約-5℃で凍結し、さらに約3℃で約6時間の間解凍する操作を3回繰り返すことによりなり、前記褐藻類抽出溶液の混合段階は、加熱して抽出した褐藻類抽出溶液と加熱せずに抽出した褐藻類抽出溶液とを1:1の割合で混合することを特徴とする。

【0015】また、前記よもぎ抽出溶液を抽出する工程は、前記加熱により抽出した褐藻類溶液を冷却し、前記褐藻類溶液によもぎを入れてよもぎ抽出溶液を抽出する段階を含み、前記よもぎ抽出溶液を抽出する段階は、約60℃に冷却した前記褐藻類溶液1L当たり前記よもぎを粉末化したよもぎ粉末10gを入れてよもぎ抽出溶液を抽出する段階を含むことを特徴とする。

【0016】また、前記松葉抽出溶液加工工程は、水1L当たり松葉125gを入れてから加熱して松葉抽出溶液を抽出する段階を含み、前記溶液を混合し攪拌する工程は、前記工程から抽出した抽出溶液及び添加物を一つに混合して均一に攪拌する段階と、前記段階で混合され

た完成品を包装する段階とを含むことを特徴とする。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の望ましい実施の形態を詳細に説明する。

【0018】まず、酸化シワックス形態に変形されて頭皮の毛球を塞ぐ皮脂を溶かすために、本発明による脱毛を予防する毛髪用化粧組成物は、二酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム等の各種無機質が溶解された黄土溶液を含む。一般に、黄土は、砂、沈泥、及び粘土の種々の比の容易に粉碎された混合物を含有する土壌を言うが、このような黄土は粒子の大きさが約0.02~0.05mmで、水分含有量は約10~15%で、孔隙率は約50~55%である。

【0019】黄土の化学組成を見ると、二酸化珪素 SiO_2 50~60%、酸化アルミニウム Al_2O_3 8~12%、酸化鉄(III) Fe_2O_3 2~4%、酸化鉄(II) FeO 0.8~1.1%、二酸化チタン TiO_2 及び酸化マンガン MnO 0.5%、酸化カルシウム CaO 4~16%及び酸化マグネシウム MgO 2~6%の割合よりなっている。

【0020】本発明による前記二酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム等の各種無機質が溶解された黄土溶液を抽出する段階は、自然状態の黄土を細かく粉碎してふるいで濾して細かい黄土のみ選別して精製水に溶解させるが、この時、溶解されずに沈んだ沈殿物は捨て、溶解された黄土水を数回掻き混ぜた後、暗所に置いて上層部の上澄み溶液を抽出することよりなる。

【0021】また、直接毛嚢上皮に作用して毛髪の成長を誘発するために、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物は、褐藻類の抽出溶液を含む。本明細書中で使用される褐藻類の例の属及び種の学名としては、*Undaria pinnatifida*、*Laminaria Japonica*、*Fucus vesiculosus*などが挙げられる。

【0022】すなわち、ホルモン分泌の不均衡と栄養欠乏とによる脱毛を予防し、毛髪の成長を促進するために甲状腺機能欠乏症を防止するカルシウムと沃素成分とが多量に含まれた褐藻類の抽出液を含むことである。

【0023】褐藻類のエキスを抽出する方法は、沃素成分を円滑に抽出するために、水に入れてから加熱してエキスを抽出する方法と、他の各種成分を容易に抽出するために、凍結と解凍を交代に操作して葉体を破壊することによって、エキスを抽出する方法とを混用する。

【0024】加熱してエキスを抽出する方法は、前記褐藻類と水とを適当に混合して2~3時間の間沸かして液を抜くことであり、加熱せずにエキスを抽出する方法は、褐藻類を粉碎して凍結及び冷蔵を繰り返すことにより、細胞の組織破壊を誘導して各種成分を抽出することである。

【0025】褐藻類の葉体は、-7℃で凍結してから+5℃で解凍する過程を繰り返し操作する時、最も細胞組

織がよく破壊され、-3℃で凍結してから+1℃で解凍する過程を繰り返し操作する時、細胞組織の破壊程度は低い。本発明において用いることができるほど細胞組織の破壊程度は良好である。かかる操作後、90%以上の細胞組織の破壊のために、粉碎機を用いて粉碎し、二重のガーゼを用いて望みの褐藻類のエキスを抽出すればよい。本発明においては、褐藻類の形態が自然状態の形態、凍結した形態、加工した形態及び乾燥した形態にかかわらず褐藻類ならば皆使用できる。また、末梢血管に作用することにより、頭皮の血液循環を円滑にして毛髪の生成を促進するために、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物は、よもぎのエキスを含む。

【0026】前記よもぎはシネオール及びセスキテルペンなど各種成分を含んでいるが、前記シネオール及びセスキテルペン成分は、組織細胞の復元力を強化し、血液の中で赤血球を増加させ、白血球等各種病原体及び人体に有害な異質物を除去する免疫体を増加させることにより、疾病の予防及び治療力を向上させると言う効能がある。また、ヘモグロビンなどの生成を促進して力を補強し、皮膚の老化を防止すると言う効能がある。

【0027】本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物に用いられる前記よもぎのエキスを抽出する段階は、自然状態のよもぎを暗所で乾燥して粉碎してから粉に加工する段階と、上述した褐藻類を水に入れてから加熱して抽出した溶液に適当量を入れてエキスを抽出する段階とよりなる。

【0028】また、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物は、毛髪の成長を促進するために松葉抽出物を含む。

【0029】前記松葉の構成成分は100gを基準として、水分58.1g、蛋白質4.5g、脂質3.9g、糖質19.6g、繊維素13.3g、灰分0.6g(カルシウム61mg、リン51mg、鉄3.1mg及びナイアシン0.2mg、ビタミン B_1 0.70mg、ビタミン B_2 0.16mg、ビタミンC 29mg)などが含まれている。

【0030】毛髪の成長を促進することが一般的に知られている成分が含まれている植物のうち、ニンニク、玉ネギ、唐辛子、ショウガ、ニンジン、イチヨウの葉、松葉、正木(spindle tree)の葉を選定し、これらをそれぞれ水に入れて3~4時間の間加熱してエキスを抽出する。それぞれの抽出液を上述したよもぎのエキス、褐藻類の抽出液及び黄土から抽出した溶液と混合して3ヶ月間10名を対象として実験した結果、確かに効果が増加したのは、松葉とショウガの抽出液であった。

【0031】したがって、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物は、経済性によりショウガでなく松葉の抽出液を使用する。

【0032】上述したように、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物の製造方法は、黄土から二酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム等各種無機質が溶解された黄土溶液を抽出する黄土溶液加工工程と、褐藻類からエキスを抽出する褐藻類抽出溶液加工工程と、よもぎのエキスを抽出するよもぎ抽出溶液加工工程と、松葉から松葉抽出液を抽出する松葉抽出溶液加工工程とよりなる。また、前記黄土溶液、よもぎ抽出液、褐藻類抽出液及び松葉抽出液を皆混合して、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物を製造する工程と前記完成品を包装する工程とを含む。

【0033】

【実施例】以下で、本発明による実施例を説明する。しかし、本発明はこの実施例によって限られることはない。

【0034】（実施例1）二酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム等各種無機質を含む黄土溶液の抽出
黄土を細かく粉砕してシーブで2〜3回濾して砂のように細かい黄土のみ重量が100gになるように選別する。前記選別された黄土を精製水500mlに完全に溶解してから、沈んだ沈殿物は捨て、溶解された黄土のみ選別する。前記選別された黄土溶液を約50〜60回掻き混ぜた後、1時間くらい暗所に置く。前記黄土溶液のうち上層の黄土溶液のみを選別することにより、本発明による脱毛を予防するための毛髪用化粧組成物に使われる黄土溶液を抽出する。

【0035】（実施例2）ワカメ及び昆布の各種成分の抽出

1. 原料

ワカメと昆布とは自然状態のものを2kg購入して使用する。

2. 加熱による溶液抽出

前記原料のうち1kgは水4Lに入れ、100℃で3〜4時間の間加熱して溶液を抽出する。

3. 葉体組織の破壊及び滲過方法による溶液抽出

原料のうち残り1kgは、まずワカメ及び昆布の特有の

臭いを除去するために、原料を振盪器により1分当り500〜1,000回の回転をさせ、精製水をそそぎながら60分間洗って臭いを除去する。

【0036】脱臭したワカメと昆布との原料を−5℃の凍結室で凍結した後、+3℃の冷蔵室で6時間の間解凍する操作を3回繰り返して実施することにより、葉体組織細胞が氷結点の成長により50%程度破壊されることにより、各種成分の抽出が容易になる。

【0037】前記50%程度破壊された葉体組織の破壊度を90%以上とするために、粉砕機に入れて粉砕する。

【0038】前記粉砕された葉体組織を二重のガーゼにより分離及び滲過することにより、ワカメ及び昆布液を抽出する。

【0039】前記加熱により抽出した溶液と葉体組織の破壊及び滲過方法により抽出した溶液とを1:1の割合で混合する。

【0040】（実施例3）よもぎのエキスを抽出
原料として乾いたよもぎ（食用または薬用）を1kg購入して粉末になるように粉砕機より3回程度粉砕する。前記加熱により抽出したワカメ、昆布溶液を60℃程度に冷却し、前記冷却した溶液1L当たり前記よもぎ粉末10g程度を入れてよもぎエキスを抽出する。

【0041】（実施例4）松葉液の抽出
松葉を採取し、その中から約500gを選別して水4L程度に入れ、前記混合溶液が1Lになるまで加熱する。前記松葉は乾燥されたものを使用してもよく、採取した後すぐに使用してもよい。

【0042】（実施例5）前記1〜4の抽出溶液を混合して作った脱毛予防用ヘア化粧水

次の表1の組成によって前記抽出溶液を均一に混合し攪拌して化粧水を製造する（表1の構成比はよもぎエキス10重量部に対して各成分の重量部を表示する）。

【0043】

【表1】

原料名	実施例5の 化粧水	比較例1	比較例2	比較例3	比較例4
黄土溶液 (実施例 1)	50	—	50	50	50
褐藻類抽出 液(実施例 2)	50	50	50	50	—
よもぎエキ ス(実施例 3)	10	10	10	—	10
松葉抽出液 (実施例 4)	20	20	—	20	20
パラオキシ 安息香酸ブ ロピル	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
色素	適量	適量	適量	適量	適量
芳香油	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01

前記実施例5の化粧水と比較例1～4で製造した製品と
に対して30名の被試験者にテストを実施した。前記テ
ストの結果を1～5点で評価した後、テスト項目の点数
を平均して表2に示した(評点5点は非常に優秀、4点

は優秀、3点は普通、2点は不良及び1点はとても不良
で判断する)。

【0044】

【表2】

項目	実施例5の 化粧水	比較例1	比較例2	比較例3	比較例4
脱毛された部 分の再生率	3.2	2.8	2.5	3.0	2.8
脱毛の防止率	4.4	4.0	4.0	2.5	3.0
脂気の除去率	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0
ふけの除去率	4.5	4.3	4.2	4.2	3.8
髪の毛の 向上率	4.8	4.8	4.8	4.8	2.0

以上の結果によって、毛髪の再生と脱毛の予防には、二
酸化珪素、アルミニウム及びマグネシウム等各種無機質
が溶解されている黄土溶液が大変な影響を及ぼしている
ことが分かる。また、褐藻類抽出溶液が、髪の毛のきめがな
めらかになることに影響を及ぼすと言うことは明らかで
ある。

【0045】

【発明の効果】上述したように、本発明の脱毛を予防す
る毛髪用化粧組成物は、毛球を塞ぐ過酸化された皮脂を
溶かし、頭皮の血液循環を促進し、毛髪成長に必要な各
種有機質及び各種ミネラルを供給することによって、脱
毛の予防だけでなく、脱毛された毛髪をまた再生でき
るという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による脱毛を予防するための、毛髪用化
粧組成物の製造方法を示す工程フローチャートである。

【図2】本発明による脱毛を予防するための、毛髪用化
粧組成物を製造することに必要な理論的根拠を説明する
毛髪の構造図である。

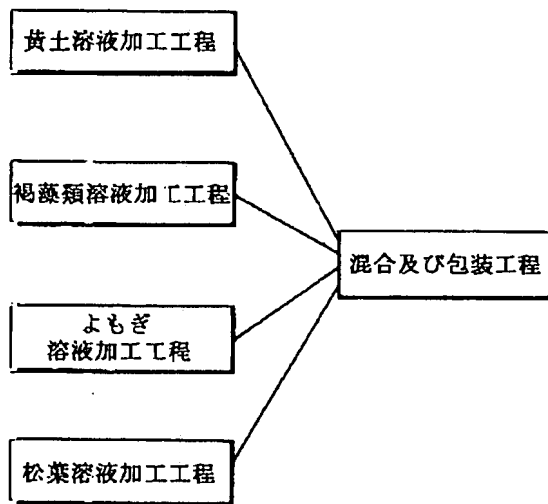
【符号の説明】

- 1…髪の毛
- 2…毛乳頭
- 3…幹細胞
- 4…毛球
- 5…皮脂腺
- 6…毛根

7…皮膚の表皮

8…毛幹

【図1】



【図2】

